

北海道開発局長記者会見資料
令和3年4月14日

流域治水プロジェクトについて



北海道開発局ホームページへはこちらから。



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

流域治水プロジェクトについて

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

- 「流域治水プロジェクト」は、国、流域自治体、企業等が協働し、河川整備に加え、雨水貯留浸透施設や土地利用規制、利水ダムの事前放流など、各水系で重点的に実施する治水対策の全体像をまとめたものです。
- 北海道内の一級水系(13水系)において、水系ごとの流域治水協議会において検討※し、流域治水プロジェクトが策定されました。



※ 13水系: 石狩川水系、後志利別川水系、尻別川水系、鶴川水系、
沙流川水系、十勝川水系、釧路川水系、網走川水系、
常呂川水系、湧別川水系、渚滑川水系、天塩川水系、留萌川水系
流域治水協議会(14協議会)

: 石狩川下流、石狩川上流、後志利別川、尻別川、鶴川・沙流川、十勝川、釧路川、網走川、常呂川、湧別川、渚滑川、天塩川下流、天塩川上流、留萌川

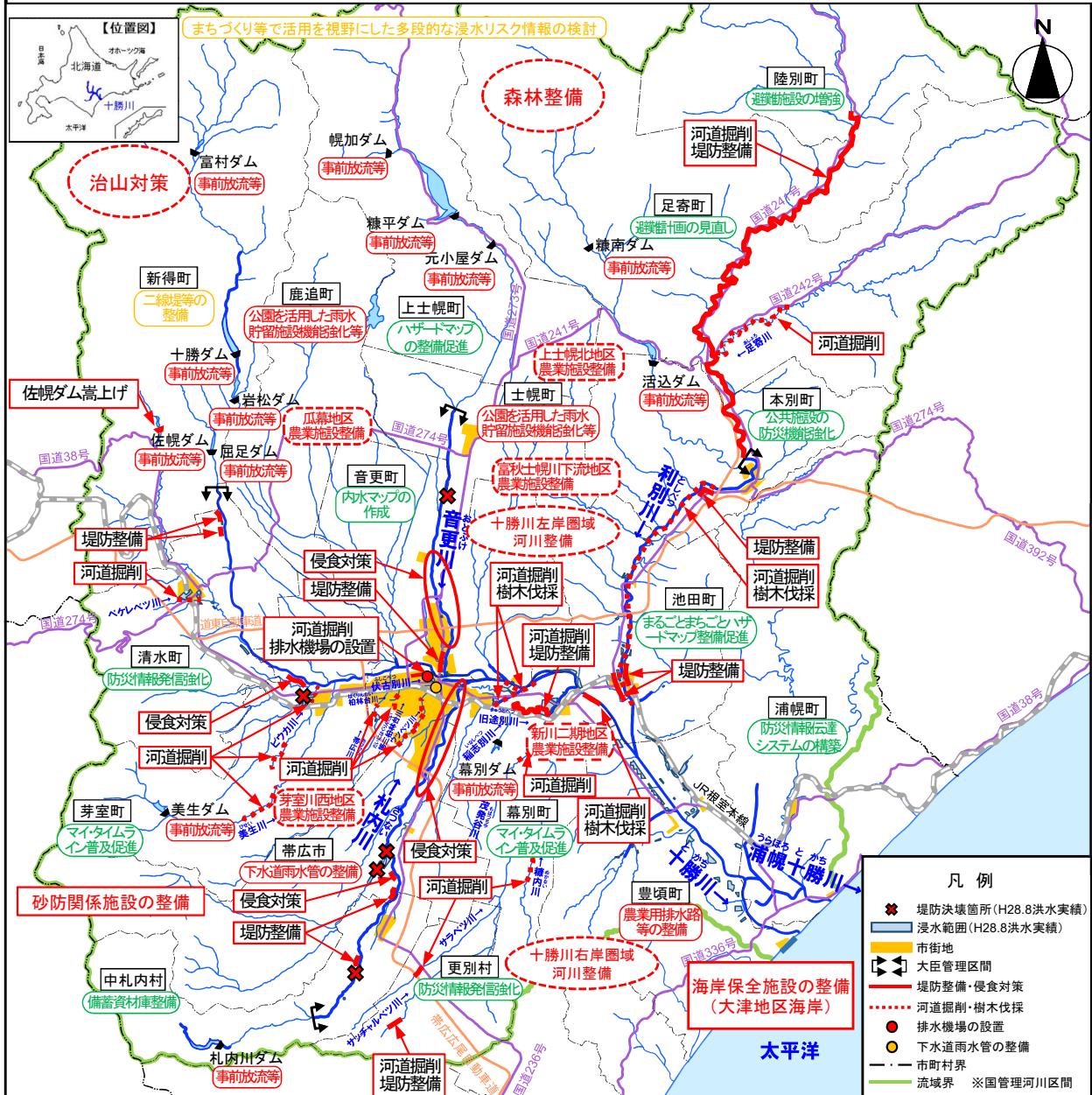
流域のあらゆる関係者が協働して行う対策

- 水害をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河川堤防や遊水地等の整備・治水ダムの建設・再生
 - ・雨水貯留浸透・排水施設の整備
 - ・砂防関係施設の整備・海岸保全施設の整備
 - ・利水ダム等の事前放流
 - ・利水ダムの事前放流等の判断に資する雨量予測の高度化
 - ・水田の貯留機能の向上
 - ・森林整備、治山対策
 - ・民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備
 - ・未活用の国有地を活用した遊水地・雨水貯留浸透施設等の整備など
- 被害対象を減少させるための対策
 - ・高台まちづくりの推進(線的・面的につながった高台・建物群の創出)
 - ・リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導など
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・ハザードマップやマイタイムライン等の策定
 - ・要配慮者利用施設(医療機関、社会福祉施設等)の浸水対策
 - ・渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策
 - ・地下駅等の浸水対策、鉄道橋梁の流出等防止対策
 - ・学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持など

【事例】十勝川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～我が国を代表する食料生産基地「十勝」を洪水から守るための治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、十勝川水系においても、日本の重要な食料供給地である十勝圏の既存農業施設の治水活用や被害軽減のための避難等の対策を含む事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、音更川、札内川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成28年8月洪水と同規模の洪水に対して、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



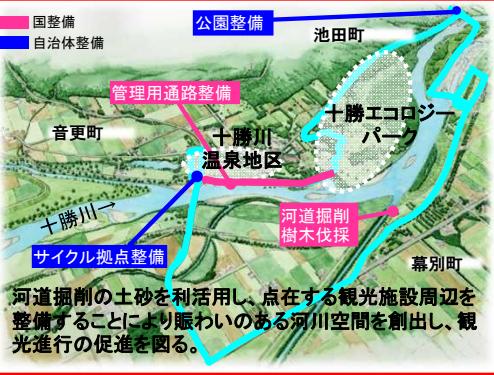
●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、侵食対策、排水機場設置、佐幌ダム嵩上げ
- ・既存ダム13ダムにおける事前放流等の実施・体制構築
(関係者:国、北海道、市町村、電力会社、水道事業者など)
- ・砂防関係施設の整備
- ・雨水貯留に活用できる農業用排水路等の整備
- ・治山対策
- ・森林整備
- ・津波・高潮対策(海岸整備)
- ・流出抑制対策
- ・下水道雨水管等の整備



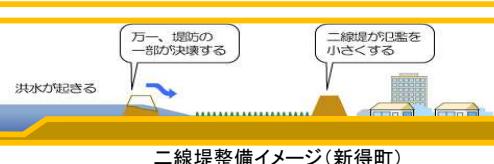
●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・備蓄資材庫整備
- ・避難施設の増強
- ・内水マップの作成
- ・避難計画の見直し
- ・マイ・タイムラインの普及促進
- ・まるごとまちごとハザードマップの整備促進、水害リスク空白域の解消に向けた取組
- ・防災情報発信強化



●被害対象を減少させるための対策

- ・二線堤等の整備検討
- ・まちづくり等で活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【事例】十勝川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～我が国を代表する食料生産基地「十勝」を洪水から守るための治水対策の推進～

- 十勝川では、H28.8洪水対応を踏まえた緊急治水対策プロジェクトは概ね完了したところであり、引き続き、我が国を代表する食料生産基地である流域の特徴を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、道、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】** 十勝川流域の人口・資産が集中する中流域での重大災害の発生を未然に防ぎ、かつ、内水被害軽減のため、水位低下を目的とした河道掘削及び排水機場整備等を主に実施するとともに、公園を活用した雨水貯留施設機能強化及び下水道雨水管の整備のほか備蓄資材庫整備等を実施予定。
- 【中期】** 十勝川中流部の浸水被害を防ぐため河道掘削及び洪水調節施設としてダム再開発を主に実施するとともに、二線堤の整備検討及び内水マップの作成等を実施予定。
- 【中長期】** 支川下流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削等を主に実施し、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策及び被害対象を減少させる対策を引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | |
|---------------------|---|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------------|------------------------------|
| | | | 短期 | 中期 | 中長期 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 流域の人口・資産が集中する十勝川中流部を守る河道掘削及び堤防整備 | 帯広開発建設部 十勝総合振興局 | 十勝川中流部 | | |
| | 十勝川左岸圏域及び右岸圏域の市街地等を守る河道掘削及び堤防整備 | 帯広開発建設部 十勝総合振興局 | 利別川等 | 浦幌十勝川等 | |
| | 十勝川右岸圏域の市街地等を守るダム再開発 | 十勝総合振興局 | | 佐幌ダム嵩上げ | |
| | 帯広市街地を守る排水機場整備 | 十勝総合振興局 | 排水機場整備 | 砂防設備の整備 | |
| | 市街地等を土石流から守る土砂災害対策 | 帯広開発建設部 十勝総合振興局 | | | 治山施設等の整備 |
| | 雨水貯留に活用でき、湛水被害の軽減を図る食料安定生産のため農業施設整備 | 帯広開発建設部 十勝総合振興局 | 上士幌北地区・富秋士幌川下流地区・瓜幕地区 | 新川二期地区・芽室川西地区 | |
| | 山地災害から流域を守る治山対策 | 北海道森林管理局 十勝総合振興局 | | | 治山施設等の整備 |
| | 森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備・森林保全対策 | 北海道森林管理局 十勝総合振興局、市町村 森林整備センター等 | | | 植栽・間伐などの森林整備を実施 |
| | 津波に対する背後地の浸水被害を防止し民生の安定を図る津波・高潮対策(海岸整備) | 十勝総合振興局 | 豊頃海岸大津地区 | 公園を活用した雨水貯留施設機能強化等 (土幌町) | 農業用排水路等の整備 (豊頃町) |
| | 河川への急激な雨水流出を抑制する流出抑制対策 | 上士幌町 豊頃町等 | | | |
| | 浸水被害の軽減を図り市街地を守る下水道浸水被害軽減対策 | 帯広市等 | | | 下水道雨水管の整備 (帯広市) |
| 被害対象を減少させるための対策 | 二線堤等の整備検討 | 新得町 | | | 二線堤等の整備検討 (新得町) |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 早期復旧に備えた対策 | 帯広開発建設部 十勝総合振興局 中札内村等 | | 備蓄資材庫整備 (中札内村) | まるごとまちごとハザードマップ整備促進 (池田町) |
| | 被害軽減対策 | 池田町 音更町等 | | | 内水マップの作成 (音更町) |

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■事業規模

河川対策（約1,252億円）
対策内容 河道掘削、堤防整備、
侵食対策、排水機場整備 等
砂防対策（約243億円）
対策内容 砂防堰堤整備、砂防堰堤改
良、流木止め整備 等
下水道対策（約16億円）
対策内容 下水道雨水管等の整備 等

※1：国・北海道の河川整備計画の残事業費を記載

※2：国・北海道の砂防事業の残事業費を記載

※3：各市町における下水道事業計画の残事業費（雨水関連）を記載